

事業報告書

コース	自主事業コース 協働市民提案コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	コミュニティ駄菓子屋事業
団体名	倉敷東学区社会福祉協議会
担当課	倉敷市健康長寿課 地域包括ケア推進室

1 事業の概要

事業計画書（様式第2号）の「4 計画の概要と対象者」を転記してください。

- ・駄菓子屋開催日の案内チラシのみでは無く、町内に結果報告の印刷物配布等も行い、住民（特に高齢者）に楽しそうな場所と感じて戴くように宣伝する。
- ・世代間のコミュニケーションを深めるため、来客者に積極的な挨拶・声かけを行う。
- ・運営する高齢者の負担感を減らすため、楽しい企画の立案と新たな担い手の発掘を行う。

2 アウトカム（成果）の達成状況

様式第7号

事業計画書(様式第2号)の「6 アウトカム(成果)」に対して、事業を実施する中で見えてきた成果があれば具体的に記入してください。

< 初期記載 >

- ・幸町内の住民同士の交流が増え、駄菓子屋開催日以外にも、気にかけて、助け合える関係が育まれていく。

毎回目玉イベントを実施したことで、今後の企画を年配者が考えそれを楽しみにされるようになった。また、子育て中のパパやママも参加されるなど幅も増えた。更にはこの事業を一年半続けたことが倉敷東小に開設された避難所支援にも結び付いた部分も大いにあった。

当初は「高齢者」「大学生」「子ども達」が、それぞれの年代層で交流していたが、回を重ね一緒に楽しめる玩具やイベント等を通して、世代間交流がより出来るようになり、気に掛けあう関係性に繋がっている。

元々地域との交流が少なく、単身生活であったマンション居住の高齢者の方が、駄菓子屋に来ることを「楽しい」「子ども達の声が聞こえて嬉しい」と話し、ほぼ毎回参加するようになるなど、社会参加と地域住民との交流のきっかけとなっている。

内容をメンバーで企画・検討をする中で、メンバーそれぞれの得意なことを知り、発揮していただく機会(高齢者の役割創出、活躍の機会)や、役割分担による助け合いに繋がっている。

例：・買い物袋作りが得意な方が、自宅でも作成し、駄菓子屋に持参

- ・メンバーの提案により、今年度から会の終わりに季節に応じた歌を皆で歌うこととなり、その歌詞を書いた紙の作成や歌を歌う際の進行もメンバーが行う

- ・市内他地区でも本事業を参考にした同様の取り組みが準備される

倉敷市社会福祉協議会が開催する住民参加サービス等の担い手養成による地域で高齢者の生活を支えるシステムの構築を目的とした「倉敷市生活・介護支援サポーター養成講座」にて、本事業の紹介と体験の受入を実施。受講者の今後の取り組みの参考としていただいた。(特に体験者は今後、自地域での居場所づくりを前向きに検討されている方であった)

残念ながら、未だ市内他地区にて具体的な取り組みは見られてはいないが、運営費と人材が確保できれば、多くの地域でこのような新しい交流の場を生み出すことが可能であるということが実証できたと考える。

様式第7号

アウトプット（直接の結果）の達成状況

事業計画書（様式第2号）の「5 アウトプット（直接の結果）」の「指標」及び「事業実施後の数値目標」を転記し、事業実施後の達成状況を数値で記入してください。

（1）事業実施後の達成状況

指標（転記）	事業実施後の数値目標（転記）	事業実施後の達成状況
・「だがしや」の開店回数	12回/年間	4月～毎月開催で計12回
・参加人数	毎回100人以上	4月55名、5月49名 6月77名、7月42名 8月43名、9月25名 10月42名、11月64名 12月46名、1月45名 2月48名、3月約30

（2）事業全体の達成度（自己評価）とその達成度にした理由

《達成度》
 達成度については、1から5の5段階で自己評価してください。
 評価の目安は、計画通り達成できた場合を100とし、100以上が「5」、80～99が「4」、60～79が「3」、40～59が「2」、0～39が「1」としてください。

達成度	その達成度にした理由
4	<p>各種方法で宣伝に努めたが、毎回の参加者数は予定数に未達であった。</p> <p>しかしながら最大の成果は、子どもたち、地域の住民（特に高齢者、子どもを持つ親）が集える場が生まれ、学生たちは、社会人とのコミュニケーション、子どもたちと接する場ができた。その結果、場が生み出す様々な成果がさらに増幅された。</p> <p>前ページでも触れたことであるが、補助金と人材が確保できれば多くの地域でこのような企画と場が設定できるきっかけとなり、地域の新しい交流の場を生み出せることがほぼ実証できた</p>

3 事業の課題と改善策

事業を実施する中で見えてきた課題と、今後の改善策を記入してください。

- ・メインのイベントを毎回企画したことで参加者は集いを楽しんでいる。また、高齢者による（英字）新聞による買い物袋も定期的に作成・持参された上での参加など、生きがいや居場所作りも少し定着してきた感がある。さらにはこのような世代間交流を実施する中で、子育て中のパパ・ママさんも参加されるようになり、彼らも居場所を望んでいることが分かった。そこで今後も気軽に参加できるよう宣伝を工夫（紙媒体＋ネットの活用や、子育て中の団体と繋がりのある生活支援コーディネーターを通じた周知の促進）したい。
- ・倉敷中心部に位置するため、真備の水害により学区内の借上げ型仮設住宅に転居された方も近くに多く居られる。災害後の活動で、その方々と地元との繋がり等のための居場所になっても良いのではないかと感じるようになった。今後、生活支援コーディネーターを通じた真備の方々向けのイベント等でコミュニティだがしや事業の周知を図り、だがしやが皆さんの繋がるきっかけの場所としたい
- ・美観地区にある東町駄菓子屋を参考にして掲げた参加人数は目標未達であるが、今後も更なる周知を図るため、考えられる場所で開催案内のチラシを配布することによっても参加の層を増やしたい。
- ・前述のように、本補助金事業の駄菓子屋を通じて幸町に於いても生きがい／ふれあいの場が定着しつつあるが、まだ完全に自前で実施できるまでにはなっていない。次年度は行政の提案が無い場合次年度も自主事業として提案した。

様式第7号

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
駄菓子屋事業2年目準備 事業継続説明・健康長寿課初顔合わせ	平成 30.04.11	幸町会館	13	9
駄菓子屋開店（毎月第3土曜日） メイン企画は下記の通り				
4月 折り紙細工	平成 30.04.21	幸町会館	6	49
5月 バルーンと手品	5/18	〃	7	42
6月 手遊びと紙芝居(FMくらしき取材)	6/16	〃(倉高5名も)	7	65
7月 シャボン玉とスライム作り	7/21	〃	12	30
8月 凧揚げ、けんだま(しらかベキッズ)	8/15	〃	7	36
9月 カプラあそび	9/15	〃	7	18
10月 ペットボトルキャップで遊ぼう	10/20	〃	6	36
11月 射的で遊ぼう	11/17	〃	10	54
12月 交通安全紙芝居・手話・・・	12/15	〃(見学者1名)	8	38
1月 手品があるよ、みんなわかるかな？	1/19	〃	6	39
2月 昔遊び(福笑い・双六など)	2/16	〃	6	42
3月 将棋・オセロじいちゃんに勝てるかな 昔遊びに変更	3/16	〃	10	25
前月結果報告・今後の準備や意見交換				
毎月の駄菓子屋開店前に担当者と打合せ	4/12、5/8、6/2、7/12	倉敷町家トラスト	各2	
中間報告と三年目をどのようにするか	9/13	幸町会館	7	7
学生提案の12月企画の具体化	11/29	支援センター	4	
引き継ぎ、反省会と来年度の予定に付いて	3/16	幸町会館	18	
健康長寿課との打合せ	4/11、5/11、7/03	メール		
中間報告と今後の予定依頼	10/27	電話とメール		
駄菓子持ち帰り袋用英字新聞手当依頼	11/17	口頭(後日受取)		
他地区への展開のための活動				
長寿課のHPにイベント情報掲載	平成 30.05～	長寿課HP		
長寿課とともに広報くらしき原稿作成	平成 30.06 平成 30.07	不採用 広報くらしき9月号		
地区社協会長としての広報				
生活・介護支援センター講座で活動紹介	平成 30.11.18	健康福祉プラザ	右記以外9	16名
上記講座受講者の見学受け入れ	平成 30.12.15	幸町会館		受入1名
ブログの更新(担当:学生)	毎月			

収支精算書

1 収入の部

科目	予算額(円) ¹	収入額(円)	主な収入の内訳
受益者負担	156,000	77,575	毎月の駄菓子売上
会費からの繰入	0		
その他	0	1,100	利息 ¥ 1 + 寄付
市補助金	267,000	267,000	
収入合計	423,000	345,675	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	予算額(円) ¹	支出額(円)	主な支出の内訳
人件費(会員) ²	0	0	
交通費(会員) ²	0	0	
人件費(アルバイト等)	152,000	154,250	学生 4 人のアルバイト料
謝金(講師等)	0	0	
旅費交通費(講師等)	19,000	20,900	中庄 - 倉敷往復 交通費
消耗品費	178,000	94,833	年間駄菓子購入費・北 [°] -用紙等
印刷製本費	4,000	33,600	チラシ印刷費用
通信運搬費	0	0	
保険料	7,000	6,720	ボランティア保険加入費
使用料・賃借料	27,000	27,500	¥ 2,000/月 + 冷暖房費 ¥ 500/月 * 7
外注費・委託費	0	0	
対象経費計	423,000	337,803	
食糧費	0	0	
人件費	0	0	
その他	0	7,872	学童 ^{タスタ} レ披露時飲物、オセ口他
対象外経費計	0	7,872	
支出合計	423,000	345,675	(収入合計と一致)

1 : 予算額は申し込み時に提出した様式第 3 号の内容を転記してください。

2 : 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の 1 割を上限とします。